

令和2年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	ねりまワインプロジェクト
事業名	食農文化のまち練馬 ～ALL 練馬で ワインづくり～

1 令和3年度の事業継続

[(可) ・ 不可] とする

2 令和2年度を取組実績

[活動の仕組みづくり]

- ・ねりまワインファームメイト（681名）※前年比119人増
- ・栽培くらの新設 30名
- ・Facebook フォロワー（688名）※前年比約126人増
- ・イベント運営チームの試行

[活動実績]

① 地域ブランドワイン「ねりまワイン2020」の完成

② ファームメイト向けイベントの開催

ぶどう傘かけ体験（参加23名）／収穫体験（参加15名）／ラベルデザイン募集（応募45作品）／瓶詰体験（参加6名）／完成披露イベント（参加28名）ほか

3 令和2年度の評価

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により活動が大きく制限されたことと思いますが、その中でもできることを考えて都市農業の魅力発信に取り組み、昨年度を上回る量の地域ブランドワイン「ねりまワイン2020」を生産するなど、着実に歩みを進めています。

昨年度の課題であった組織づくりについても、ファームメイトの中でリーダーを担える人材が確実に育っており、そうした仲間が主体的に活躍する場として、「栽培くらぶ」やイベント企画チームを発足するなど、力強い進歩を感じます。

今後は、協力してくれる仲間の中から、代表を補佐する役割を担う人材を見出し、組織として一層の地盤固めに取り組んでください。

ぶどうの収穫量が順調に拡大している中で、今後は、生産した「ねりまワイン」を収益に繋げるための販路確保が重要となります。「ねりまワイン」を、単に地元のワインとして販売するだけでなく、その魅力や価値を理解し、PRしてくれる販売パートナーの確保に努めてください。

また、ワインとしてのブランド価値を高めるためには、「地産地消だからではなく“美味しいから”選ばれるワイン」であることが不可欠です。引き続き、ワインの品質向上や、消費者から求められる味の追求に努め、長く愛される地域ブランドワインを完成させてください。今後の活躍に期待しています。